

LNG・ガス市場への影響

第26回 IEEJエネルギーウェビナー（速報解説）

2022年3月3日（木）

日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・国際協力ユニット

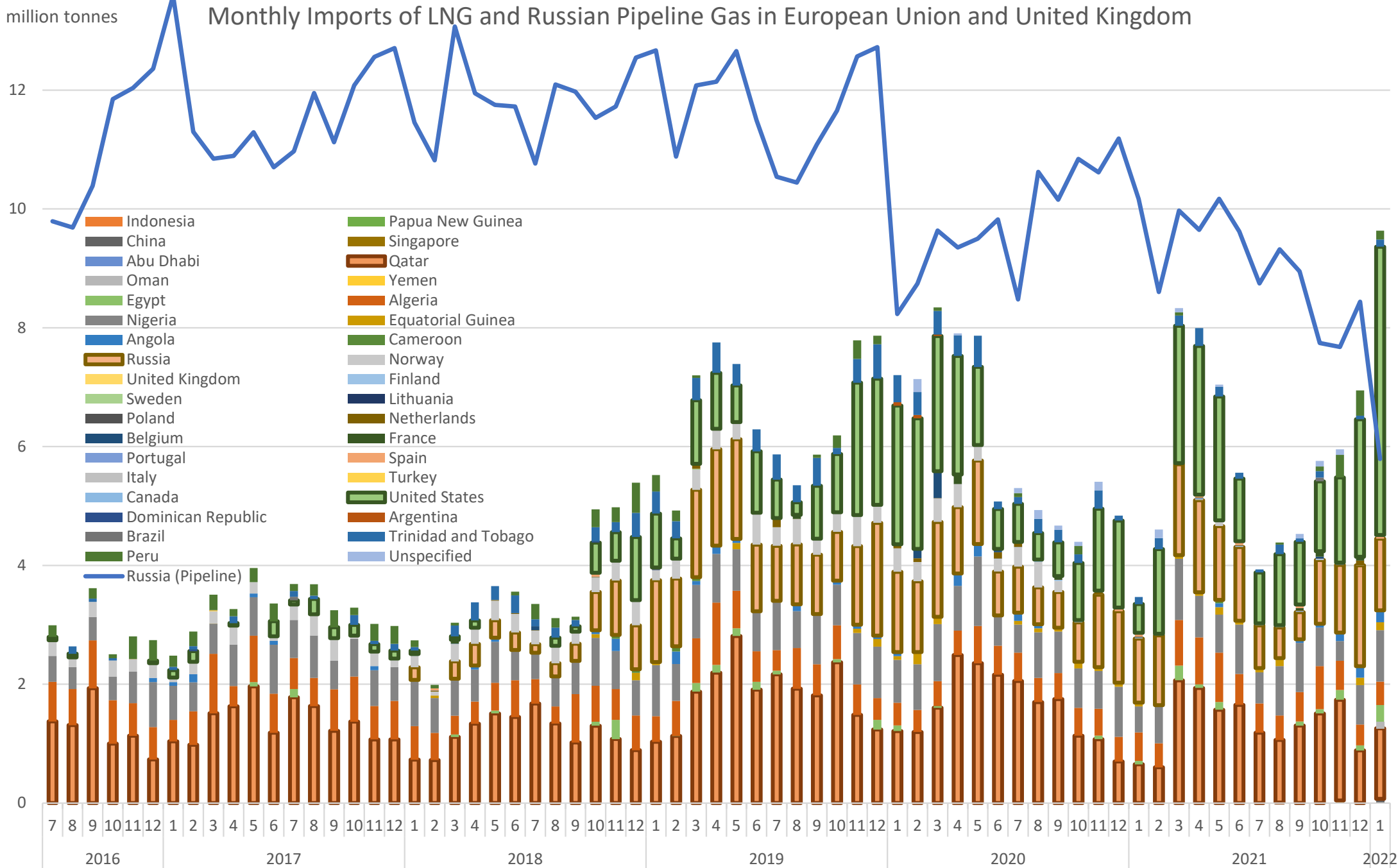
ガスグループ 橋本 裕 hiroshi.hashimoto@tky.ieej.or.jp

免責事項: 本プレゼンテーションは、情報提供のみを目的としたものであり、具体的な行為を推奨することを目的として作成されたものではありません。

注目点 - 短期的影響

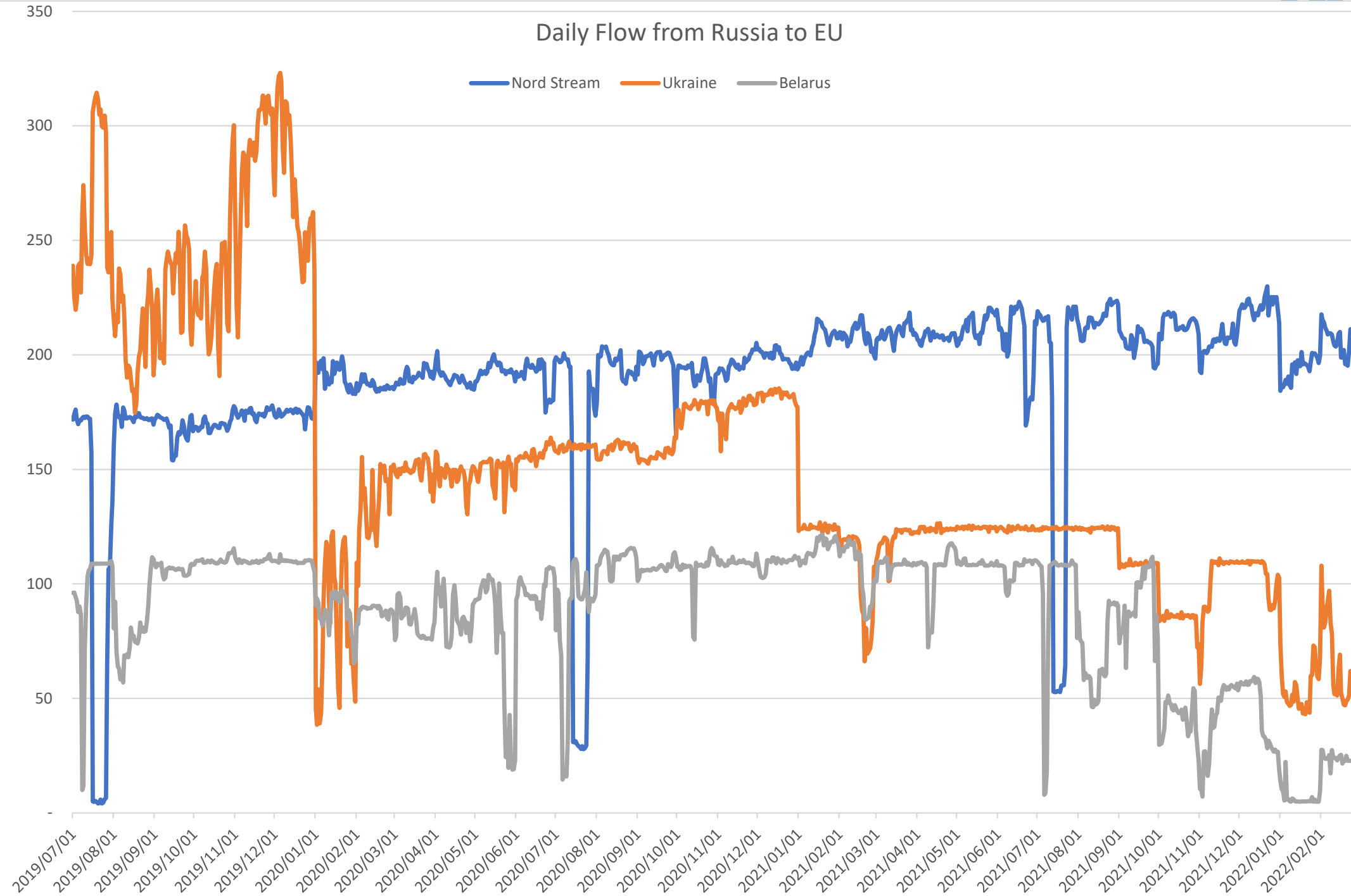
- ガス供給中断の可能性 パイプライン破壊行為、意図的停止
 - ✓大統領は供給継続希望を発言 (2/22. GECF での発言)
- EUでは、12月以降のLNG輸入急増で、域内冬季対応用のガスは量的に確保された
 - ✓気化、パイプラインへの引き取り容量は確認が必要
 - ✓地下貯蔵在庫20日分
- 但し、制裁報復でロシア産ガス供給全面遮断となれば、冬季間中に、各国で工業用のみならず家庭用エネルギー供給遮断措置が必要となる可能性もある
- 冬季終了時点で在庫低迷から、次の冬に向けて在庫積み上げには、高価格、支出増大へ
- 欧州ガス価格、世界ガス価格は、2022年高目維持
- 日本はじめ、アジアにも高価格・品薄影響
- Sakhalin 2 LNG, Yamal LNG への影響

欧州LNG
シフト加速 - 2021年
12月末の欧州
スポットガス価格
高騰の影響で、
ロシア産ガスは
LNGとの競争で劣
後、欧州買主が引
き取りを一段と減
らす



(Source) Based on data of Cedigaz LNG Services, Eurostat, Trade Stats of GB, Gazprom flow figures

Gazprom
による欧州向けパイプラインガス供給は、変動続く

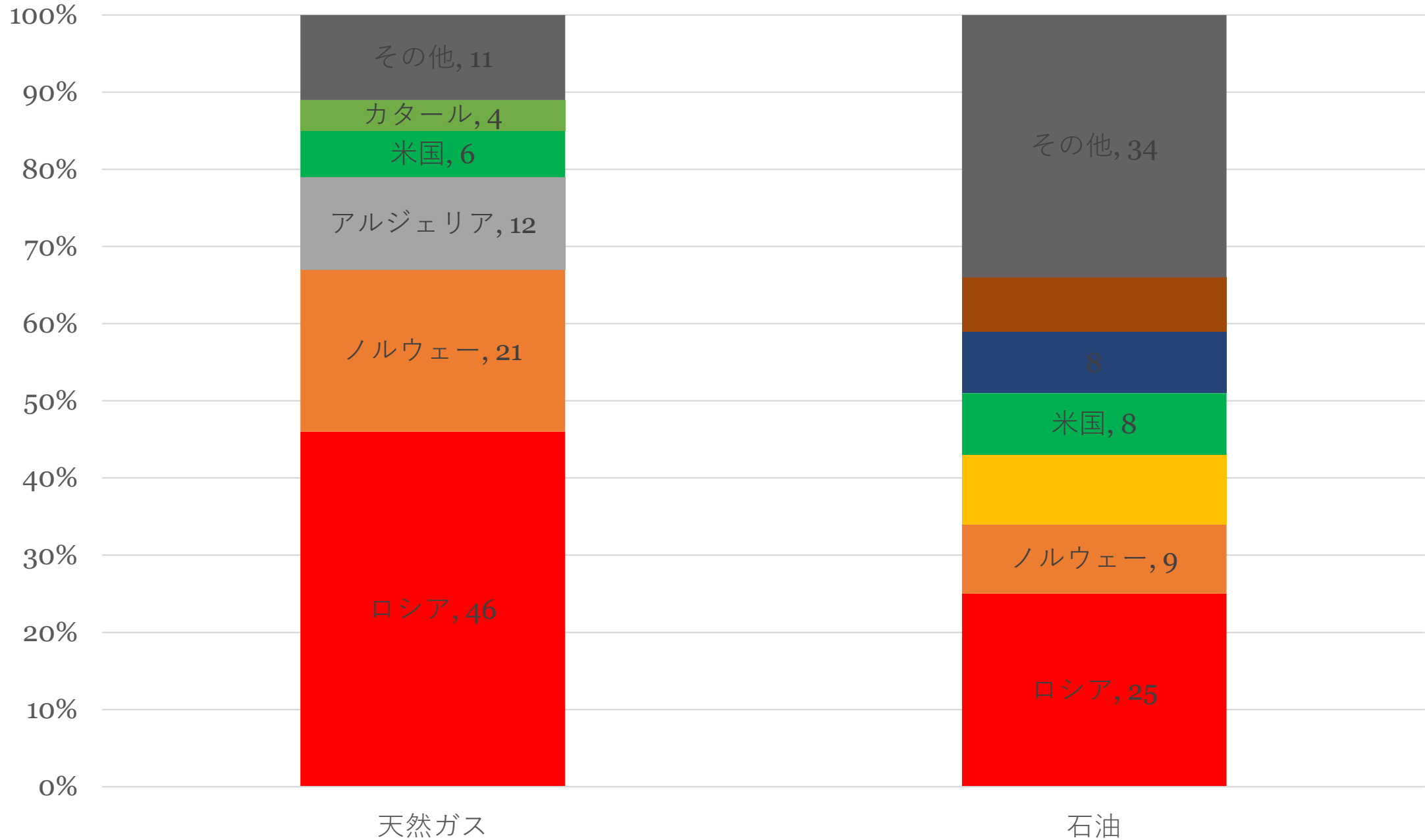


注目点 - 中期的対策

- ウクライナ経由輸送問題の数年おきの繰り返し。欧州各国政府・企業は、ロシア産ガス依存を軽減に動く
- 欧州委員会は貯蔵水準含めた対策案を公表するとの情報あり
- 欧州企業（各国・欧州当局）、**LNG**購入増加の方向に動く
 - ✓中期的には、需要期前より、前倒し調達増加につながる
 - ✓ベースロード需要を見極めた長期契約での調達増加する
 - ✓**LNG**の役割、上流投資が重要との認識を高める契機とすべき
- ガス以外へのエネルギーへの転換
 - ✓ボイラーからヒートポンプ
 - ✓洋上風力・グリーン水素、原子力
- 日本、欧州間でも**LNG**開発で協力する道を探るべき
- **Arctic LNG 2, Kamchatka FSU** プロジェクトへの影響精査必要

欧州連合 天然ガス・石油の輸入供給源（2021年前半）

欧州連合のガス供給源多様化は、これから - パイプラインガス供給における対ロシア依存は、2014年以降も軽減よりも高まり



ガス価格、さらに高騰中 - front month
に加え、年内も高目の見通しが鮮明になっている可能性

